

第24回 みどりの文化賞



「森林の力を地域の力に」 の実現をめざして

(受賞者)

中越武義氏

高知県梶原町長在任中（平成9－21年）、町の面積の91%を占める森林資源を活かし、森林セラピーの普及、木質バイオマスの地域の冷暖房などへの導入、公共施設への地域材の積極的利用など数々の先導的な取り組みを展開し、地域の振興に大きく貢献

町産材を積極的に利用した梶原町総合庁舎



森林セラピーロード

ペレット製造工場



平成 26 年 4 月 18 日
公益社団法人国土緑化推進機構

第 24 回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

公益社団法人国土緑化推進機構は、第 24 回「みどりの文化賞」受賞者を下記のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、来る 5 月 10 日、日比谷公園小音楽堂前広場で開催する第 24 回森と花の祭典「みどりの感謝祭」の式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

- ア みどりの感謝祭名誉総裁秋篠宮殿下の表彰状
 - イ 公益社団法人国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞
- が授与されます。

受 賞 者

なか ごし たけ よし
中 越 武 義 氏

問合わせ先：公益社団法人国土緑化推進機構
担当：梶谷 電話 3262-8451

第24回「みどりの文化賞」受賞理由等

受賞者 中越 武義 氏 (71歳)

もり

「森林の力を地域の力に」の実現を目指して

1. 中越武義氏は、清流四万十川の源流域に位置する高知県梶原町に昭和37年に奉職後、助役を経て平成9～21年まで3期12年にわたり梶原町長を務め、町面積の91%を占める森林の資源を総合的に活かした先導的で多岐にわたる取組みを展開し、森林林業行政や地域振興に大きく貢献した。
2. 町長在任中、地域づくりの基本を環境・健康・教育とし、特に森林を活用した子供たちの健全な育成に着目し、平成9年に森林セラピー基地の指定を受けた。平成11年には風力発電を設置し、これにより得られた売電収益を環境基金として積み立てて、森林整備等に還元させる取組みを開始した。
また、平成12年には、森林政策の基本理念等を明確に打ち出す梶原町森林づくり基本条例を制定した。同年、梶原森林組合が我が国で2例目（団体認証では初）のFSC認証を得るとともに、梶原町独自の支援として認証対象森林に対して環境基金を活用して整備費の助成を行い、認証森林の拡大に努めた。
3. さらに、地域の森林資源の循環利用を目指し、公民協働（梶原町、梶原森林組合、矢崎総業(株)）により「ゆすはらペレット(株)」を設立し、平成20年に木質ペレット工場を整備。製造された木質ペレットは、中学校の寮や福祉施設等の冷暖房に利用され、平成21年には環境モデル都市に選定された。
4. また、清流四万十川の保全等のために、水源林造成事業を活用した緑のダムとしての水源林の整備等の川上対策に尽力したほか、庁舎、プール、橋等の公共施設への町産材の積極的な利用を図るとともに、個人が町産材を使って家を建てる場合への助成等の川下の出口対策まで各般の森林林業施策を展開した。
5. 以上のように、氏の取り組んできた「森林資源を総合的に活かした地域行政の展開、地域振興」の功績は顕著なものであり極めて高く評価される。

(経歴・公職等)

昭和18年生まれ。

昭和37年 3月 高知県立梶原高等学校卒業

昭和37年12月 梶原町役場へ就職

平成元年 8月 梶原町議会事務局長、建設課長を歴任し助役就任

平成9年12月 梶原町長 (~ 21年12月)

平成18年 6月 高知県水源林協議会会長 (~ 22年6月)

平成19年 6月 全国山村振興連盟 副会長

平成20年 7月 高知県地域総合協議会山村部会長

平成20年 5月 森林セラピー基地「全国ネットワーク会議」理事

町長在任中の梶原町の受賞

平成14年 自治体環境グランプリ (コラボレーション賞) 受賞

平成15年 明日への環境賞を受賞 (朝日新聞社)

〃 環境共生参加まちづくり表彰 (環境省)

平成20年 梶原町総合庁舎がサステイナブル建築賞を受賞

平成21年 環境モデル都市に選定

〃 日本環境首都コンテストの先進事例特別賞を受賞

〃 新エネ百選 (経済産業省) に選定

みどりの文化賞について

1 趣旨

緑豊かな国土と新しい森林文化の創造に資する観点から、平成2年、国土緑化推進機構は「みどりの文化賞」を創設し、緑や森林に関して顕著な功績のあった者（個人または団体）を対象として顕彰している。

2 選考方法

広く学識経験者等から候補者の推薦を受け、それに基づいて有識者で構成する「みどりの文化賞選考委員会」において受賞者を決定する。

3 表彰

「みどりの月間」中に開催される「みどりの感謝祭」の式典において表彰し、みどりの文化賞受賞者には、

- ① みどりの感謝祭名誉総裁（秋篠宮殿下）の表彰状
- ② 国土緑化推進機構会長の賞牌・副賞を授与する。

みどりの文化賞選考委員（五十音順）

青山佳世	フリーアナウンサー
倉本聰	自然・文化創造会議議長 作家
佐々木恵彦	日本学士院会員（公財）国際緑化推進センター理事長
渋澤寿一	特定非営利活動法人 共存の森ネットワーク理事長
田部井淳子	登山家
滑志田隆	ジャーナリスト（元毎日新聞編集委員） 森林総合研究所監事
古川清	元東宮大夫
宮林茂幸	東京農業大学地域環境科学部 教授

（敬称略）

「みどりの文化賞」の受賞者

- 第1回 戦後の森林造成と国土緑化
(受賞者) 徳川宗敬 氏 (故人)
- 第2回 木の文化の継承、発展に貢献した者
(受賞者) 西岡 常一 氏
- 第3回 森林と水との関わりを社会にひろめる
(受賞者) 財団法人 水利科学研究所
- 第4回 森林と水の守り手, 山村を支える (個人)
(受賞者) 黒澤 丈夫 氏 (群馬県上野村村長)
- 第5回 森林と水の守り手, 山村を支える (団体)
(受賞者) 宮崎県諸塚村
- 第6回 ボランティア活動による森林づくり
(受賞者) 草刈り十字軍
- 第7回 持続的森林経営をめざす森林づくり
(受賞者) 高橋 延清 氏
- 第8回 大都会のなかでの自然豊かな森林づくり
(受賞者) 明治神宮の森
- 第9回 海を蘇らせた森林づくり
(受賞者) えりも岬の緑を守る会
- 第10回 「森林文化」の新たな展開
(受賞者) 筒井 迪夫 氏
- 第11回 民間公益団体による緑化活動支援
(受賞者) ゴルファーの緑化促進協力会 (GGG)
- 第12回 上下流の協力による森林づくり
(受賞者) (財) 矢作川水源基金
- 第13回 国際緑化活動の推進
(受賞者) 神足 勝浩 氏
- 第14回 地方自治による山村活性化への取り組み
(受賞者) 松形 祐堯 氏
- 第15回 国民参加の森林づくり運動の推進
(受賞者) 高木 文雄 氏
- 第16回 民間団体等による「国民参加の森林づくり」運動支援
(受賞者) 株式会社 ローソン (ローソン緑の募金)
- 第17回 森林を活かし、木の文化の伝承に貢献した者
(受賞者) 小原 二郎 氏
- 第18回 森林文化を未来に引き継ぐ森林管理
(受賞者) 神宮司庁営林部 (伊勢神宮宮域林)
- 第19回 民間団体による国際緑化活動の推進
(受賞者) (財) オイスカ
- 第20回 森林と人との豊かな関わりを目指して
(受賞者) 北村 昌美 氏
- 第21回 伝統の技が生み出す木の文化
(受賞者) 田中 文男 氏
- 第22回 「水と緑と土」は、豊かな自然の原点
(受賞者) 富山 和子 氏
さくらは日本のシンボル～大震災からの復興の励みに～
(受賞者) 佐野 藤右衛門 氏
- 第23回 日本の山から、明るく豊かな展望の到来を願って
(受賞者) 島崎 洋路 氏